

# 記載例 1

証明者の立場から見た被証明者との関係を記入する。  
 <例>  
 役員、社員、従業員等

証明者は証明期間内に被証明者が在籍していた法人の代表者又は個人事業主。  
 (原則として使用者が証明者)

様式第九号 (第三条関係)

(用紙A4)

## 実務経験証明書

下記の者は、機械器具設置 工事に関し、下記のとおり実務の経験を有することに相違ないことを証明します。

令和 1 年 11 月 30日

実務経験をえた当時の商号または名称を記入する。

青森市中央3丁目〇〇-〇〇

青森建設 株式会社

代表取締役 青森 太郎

証明者

被証明者との関係

従業員

記

技術者の氏名	工藤 三郎	生年月日	S50.4.1	使用された期間	平成 8 年 4月から 令和 1 年 11月まで
使用者の商号又は名称	青森建設株式会社				
職名	実務経験の内容			実務経験年数	
作業員	〇〇揚排水機除塵機改修工事 他4件			平成 17年 6月から 18年 5月まで	
〃	〇〇清掃工場粗大ごみ処理施設プラント機械設備工事 他3件			平成 18年 6月から 19年 5月まで	
工事部現場主任	〇〇ビル立体駐車場設備工事 他3件			平成19年 6月から 20年 5月まで	
〃	〇〇〇工場集塵機器設備工事 他 7 件			平成 20年 6月から 21年 5月まで	
	〇〇団地〇〇棟エレベーター設置工事 他6件			平成 21年 6月から 22年 5月まで	
	〇〇汚泥処理施設トラックスケール設置工事 他7件			平成 22年 6月から 23年 5月まで	
〃	〇〇〇(株)〇〇工場集塵機器設備工事 他5件			平成 23年 6月から24年 5月まで	
工事課工事係長	〇〇〇ビル立体駐車場設備工事 他1件			平成 24年 6月から 25年 3月まで	
〃	〇〇〇中継ポンプ1号機更新工事			平成 25年 5月から 25年 10月まで	
〃	〇〇下水道事業団マンホールポンプ設置工事			平成 26年 4月から 26年 11月まで	
〃	〇〇市〇〇〇施設プラント設備工事 他1件			平成 27年 2月から 27年 12月まで	
〃	〇〇〇(株)〇〇ビル エレベーター設置工事 他5件			平成 28年 1月から 28年 12月まで	
〃	〇〇清掃工場プラント機械設備工事 他5件			平成 29年 1月から 29年 12月まで	
				年 月から 年 月まで	
				年 月から 年 月まで	
				年 月から 年 月まで	
使用者の証明を得ることができない場合はその理由				合計	満 10 年 10 月

工事現場の単なる雑務や事務仕事の経験は含まれない。

現場に従事した実務経験の期間ではなく、実際に雇用されていた期間を記入する。

実務経験年数は重複しないこと。

経験年数の計算は、原則、片落としとする。ただし、月の初めから始まり、月末で終わるものについてはこの限りではない。

記載要

- 1
- 2
- 3
- 4

注：  
 ・通年にわたり工事が切れ目なく続く場合には、その年の代表的工事の件名を記入し、その他の工事は「他〇件」として1年分を1行にまとめることができる。  
 ・実務経験10年以上で申請する場合は、10行以上の記載となること。ただし、実務経験の証明が1年以上2年未満の場合、3件以上の工事件名を記載。  
 ・工事内容は、業種がわかるように具体的に記載する。工事名だけでは業種の特定ができない場合は ( ) 書きで詳細を記載する。  
 ・経験期間が重複しているものにあつては原則として二重に計算しないが、平成28年5月31日までにとび・土工工事業の許可で請け負った解体工事に係る実務経験については、平成28年6月1日以降、とび・土工工事業及び解体工事業両方の実務経験の期間として二重に計算できる。  
 ※10年以上の実務経験証明を2業種で行う場合、合計20年以上の実務経験が必要となる。